



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画局次長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福

(氏名) 井上 良次

(氏名) 市川 健治

TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,551	△24.8	△241	—	△163	—	△124	—
2020年3月期第1四半期	6,055	0.9	279	41.1	354	29.5	196	10.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 129百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△56.61	—
2020年3月期第1四半期	89.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	44,584	34,256	75.0
2020年3月期	45,721	34,328	73.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 33,442百万円 2020年3月期 33,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから未定とさせていただきます、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	2,240,000 株	2020年3月期	2,240,000 株
2021年3月期1Q	47,782 株	2020年3月期	47,782 株
2021年3月期1Q	2,192,218 株	2020年3月期1Q	2,192,246 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、企業活動の停滞や個人消費の低迷により極めて厳しい状況にあり、景気の先行きについても不透明な状況にあります。

そのような状況の中、システム関連事業収入は増収となりましたが、主力事業である放送事業収入は、テレビスポットの福岡地区投下量が前年を大幅に下回り低調だったこともあり大幅な減収となりました。また、その他事業収入も催事が開催できなかったことにより大幅な減収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高45億51百万円（前年同期比 24.8%減）で減収となり、営業損失は2億41百万円（前年同期は営業利益2億79百万円）、経常損失は1億63百万円（前年同期は経常利益3億54百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億24百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億96百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入28億23百万円（前年同期比 33.8%減）、営業損失2億22百万円（前年同期は営業利益3億3百万円）となりました。

テレビ部門は、収入23億70百万円（前年同期比 36.9%減）となりました。タイム収入は女子プロゴルフトーナメント「ほけんの窓口レディース」の中止等により35.0%減、主力商品であるスポット収入も38.0%減となりました。業種別では、食品、薬品、化粧品・洗剤・トイレタリなどが大きく落ち込みました。

ラジオ部門は、収入4億52百万円（前年同期比 11.2%減）となりました。タイム収入は系列局向けネット番組の増加により8.0%増となりましたが、制作収入はイベント等の中止により59.3%減、スポット収入も10.9%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入11億93百万円（前年同期比 4.4%増）、営業損失9百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

民間向けVANサービス及び機器販売が好調で増収となりました。利益面では、経費の削減等で前年同期より改善しましたが営業損失になりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億55百万円（前年同期比 3.9%減）、営業利益2億60百万円（前年同期比 5.8%減）となりました。

RKB駐車場収入の減少により減収減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入2億79百万円（前年同期比 26.8%減）、営業損失54百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

催事部門では、新型コロナウイルスの感染拡大により、福岡懸護国神社での「福岡音楽祭音恵2020」や九州国立博物館での「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」等の催事が開催中止となりました。その結果大幅な減収となり、利益面でも営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、445億84百万円と前連結会計年度末と比べ11億36百万円減少しました。これは主に、回収等により現金及び預金が10億29百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が21億64百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、103億27百万円と前連結会計年度末と比べ10億65百万円減少しました。これは主に、支払等により未払費用が7億8百万円、未払法人税等が1億81百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、342億56百万円と前連結会計年度末と比べ71百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きが不透明な状況です。当感染症は、世界的な規模で拡大し各国で対応に追われており、国内のみならず世界経済への深刻かつ長期的な影響が懸念されております。

このような中、当社グループは、コンプライアンスの強化に努め社会情勢に対応した事業活動を続けてまいります。しかしながら、中核事業の放送事業において感染拡大に伴う消費活動の停滞を受け広告出稿のマインドは著しく低下しております。また、その他事業におきましても各種イベントは軒並み中止または延期となっております。現時点で感染拡大の収束する時期を見通すことは難しく、2021年3月期の連結業績予想は引き続き未定とさせていただきます、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、2021年3月期の配当予想につきましても引き続き未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,595	11,624
受取手形及び売掛金	4,260	2,096
有価証券	30	-
たな卸資産	163	249
その他	2,446	2,124
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	17,495	16,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,111	6,046
機械装置及び運搬具(純額)	847	777
土地	13,517	13,517
その他(純額)	1,244	1,237
有形固定資産合計	21,721	21,579
無形固定資産	249	229
投資その他の資産		
投資有価証券	4,044	4,394
その他	2,214	2,290
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	6,255	6,683
固定資産合計	28,226	28,491
資産合計	45,721	44,584
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	348	221
未払法人税等	185	4
その他	3,432	2,676
流動負債合計	3,967	2,902
固定負債		
退職給付に係る負債	4,659	4,572
その他	2,767	2,853
固定負債合計	7,426	7,425
負債合計	11,393	10,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	32,627	32,306
自己株式	△184	△184
株主資本合計	33,008	32,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	575	822
退職給付に係る調整累計額	△73	△66
その他の包括利益累計額合計	501	755
非支配株主持分	818	814
純資産合計	34,328	34,256
負債純資産合計	45,721	44,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,055	4,551
売上原価	3,687	3,176
売上総利益	2,368	1,374
販売費及び一般管理費	2,088	1,615
営業利益又は営業損失(△)	279	△241
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	65	62
その他	10	14
営業外収益合計	76	77
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失(△)	354	△163
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	4
ゴルフ会員権評価損	2	1
特別損失合計	2	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	351	△169
法人税等	165	△44
四半期純利益又は四半期純損失(△)	186	△124
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	196	△124

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	186	△124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	247
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	△269	254
四半期包括利益	△83	129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72	129
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当社グループの特に放送事業及びその他事業において影響が生じております。

新型コロナウイルスの影響について、今後の広がり方や収束時期等について統一的な見解はなく、当社グループでは、新型コロナウイルスの広がりや収束時期等を正確に予測することが困難であり、当連結会計年度にわたって当該影響が継続するとの仮定を置き、四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づき、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、今後の経過によっては、これらの仮定及び見積りとは異なる可能性があり、当社グループの経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,265	1,142	265	382	6,055	—	6,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	16	216	379	640	△640	—
計	4,293	1,159	481	761	6,695	△640	6,055
セグメント利益又は損失(△)	303	△59	277	△9	512	△233	279

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△233百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入53百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△286百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,823	1,193	255	279	4,551	—	4,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	18	209	296	549	△549	—
計	2,848	1,211	464	576	5,100	△549	4,551
セグメント利益又は損失(△)	△222	△9	260	△54	△25	△215	△241

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入52百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△268百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	3,774	83.0	2,383	78.9	△1,390	△36.8
ラジオ収入	519	11.4	464	15.4	△54	△10.5
その他の収入	256	5.6	173	5.7	△82	△32.2
合計	4,549	100.0	3,022	100.0	△1,527	△33.6